

Carbon Neutral Now
(中国地域カーボンニュートラル推進協議会便り)



2022年12月21日(水)広島市内において、リアルとオンライン併用により「再生可能エネルギー活用拡大の最新動向」をテーマとするセミナーを開催し、会場50名、オンライン160名の出席がありました。

地域のカーボンニュートラル化には、あらゆる産業に関係する電力エネルギーの低炭素化が重要な課題であることから、第2回セミナーのテーマとして選定しました。

1. 基調講演

① 「今後の再生可能エネルギー政策について」

【経済産業省 資源エネルギー庁】

省エネルギー・新エネルギー部 再生可能エネルギー推進室長 潮崎 雄治 氏より、再エネ拡大の制約となっている諸課題への対応として、FIP 制度を通じた再エネ併設蓄電池の導入や再エネ適地(建物の屋根等)の確保による太陽光発電導入の加速化、次世代型太陽電池(ペロブスカイト等)の開発・実装への支援、浮体式洋上風力の技術開発と人材育成への支援など、同省の政策について紹介していただきました。

② 「カーボンニュートラルを実現する再エネアグリゲーション事業」

【(株)東芝ネクストクラフトベルケ(株)】

同社代表取締役社長 新貝 英己 氏より、各地に分散する再エネ電源をIoTで束ね最適制御するバーチャルパワープラントによる調整力の提供、蓄電池・発電量予測モデル・AI等を活用した再エネ事業者向けの支援サービス、多様な再エネ調達モデルを提案するアグリゲーションサービスなどの最新動向を紹介していただきました。

2. 再エネ関連のシーズ企業の紹介

再エネ関連のノウハウを有するシーズ企業と地元のニーズ企業とのマッチングを図るため、ニーズ企業からのプレゼンテーションをおこないました。

プレゼンテーションの主な内容は、以下のとおりです。

シーズ企業名	プレゼンテーション内容
東芝エネルギーシステムズ(株)	FIP 活用によるバーチャル PPA、再エネマッチング・自己託送支援・蓄電池制御サービスなど、再エネアグリゲーション事業の紹介
三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)	エンジン・蓄電池・再エネを組み合わせ、全自動制御により再エネを最大活用するハイブリッド発電システム(EBLOX)などの紹介
AZAPA(株)	独立型太陽光発電による電気自動車(EV)への充電設備(E-STATION)、系統電力による最適なEV充電器設置シミュレーションなどの紹介

○次回(第3回)のセミナーは、水素、アンモニアなど「カーボンニュートラル燃料」をテーマに、2023年3月24日(金) 広島市内にてリアルとオンライン併用による開催を予定しています。

*CN推進協議会への入会については、中国経済連合会HPに掲載しております。

(担当：小早川)